

とんぼりニュース

道頓堀商店会報
http://www.dotonbori.or.jp

道頓堀商店会事務局
〒542-0071大阪市中央区道頓堀1-7-21中座くだおれビルB1
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764
発行人：上山 勝也

2017年
7月号
Vol.141

2017年 6月28日
発行

大阪ミナミ夏祭り2017
&にぎわいスクエア
「浴衣でミナミへいっしょに〜」

16日(日)16時〜 場所：とんぼりパークウォーク
浴衣姿の女性達に道頓堀川周辺を散策して
もらいミナミの良さを知ってもらおう。また、提
灯で彩られた道頓堀川の風情に彩りを添え
て頂きます。美容家電やミナミの逸品が当た
る抽選会も。
嘉門タツオさんのライブや、大阪が立候補し
ている万博について、当商店会の上山会長と
今井相談役を交えての万博トークもお楽し
みください。

◆16時〜16時30分
浴衣を着て来場の女性先着300名様は、
いつとミナミブースにて抽選券を配布
◆17時30分〜18時
嘉門タツオ・ライブステージ
◆18時〜18時20分
嘉門タツオ氏+上山勝也氏(道頓堀商店
会会長)+今井徹氏(道頓堀商店会相談
役)による万博トーク※ステージ
◆18時20分〜18時30分
プレゼント抽選会



7月の興行ご案内
大阪松竹座

大阪松竹座新築開場二十周年記念
七月大歌舞伎
関西・歌舞伎を愛する会 第二十六回



大阪松竹座の夏の風物詩、今年は大坂松竹座新築開場二十周年記念として上演！
7月3日(月)〜27日(木) 昼の部11時〜夜の部16時
昼の部 夏祭浪花鑑(二人道成寺)
出演：中村時蔵 中村鷹治郎 片岡孝太郎 市川染五郎 尾上松也
夜の部 再春松種時 舌出三番叟/盟三五大切
出演：片岡仁左衛門 中村時蔵 中村鷹治郎 市川染五郎 尾上松也
料金：二等席17000円 一等席9000円 三等席6000円

はり重寄席

道頓堀はり重寄席第11回公演

夏のはり重寄席も豪華な顔ぶれ。テレビラジオでも大活躍の桂きん枝師匠を始め、昨年のNHK新人落語大賞受賞の桂雀太さん、注目の若手実力派笑福亭喬介さんが登場です。三味線はベテラン入谷和女さん。
7月23日(日) 12時開演(11時30分開場)
場所：道頓堀はり重三階広間
出演：桂きん枝 桂雀太 笑福亭喬介 入谷和女
料金：5000円(御弁当、赤だし付)
お問合せ：はり重精肉店06-6211-2980

「道頓堀盆おどり国際ナショナル2017」

8月12日(土)・13日(日)の2日間、道頓堀は燃えます!!



2015年の「ギネス世界記録」を達成して以来、世界的にも知名度が上がった「道頓堀盆おどり」。
1日目はカラオケ大会。全国の「ジャンカラ」を通じて出場者を募集、優勝者には「ハワイ・ホノルル6日間」準優勝者には「グアム4日間」の豪華商品が当たります。受付は7月21日まで。詳しくはポスター、ホームページをご覧ください。
2日目昼の部は、「こいや祭り」よさこい総踊りやいろんなダンスパフォーマンス、そして夕方から参加者みんなで輪になって踊る「盆おどり大会」。世界のダンスが集まる「BON・DANCE」となります。

道頓堀ZAZA HOUSE
劇団てんこもり第10回公演
「今さらのシンデレラ」

8日(土)18時〜
9日(日)11時〜15時
作演出：南条好輝
出演：高瀬代安田勝子 久井清 安田重弘
恵瑠 盛光秀信 神崎琴音 中野真由美
田口ゆう 金子真司 藤田美香 貴村真夕子
深田あさ 芳賀貴子 F.ザビエル
料金：前売2000円 当日2500円
お問合せ：06-7892-2636
star-map@n.zaza.jp

法善寺寄席

7月18日(火)15時〜
二部 彩り演芸席〜文月の席〜
出演：若井ぼん 漫談 華井 等兵(ハリエイション)
林家染八(落語) 若井やきたまる(漫才)
料金：前売2000円 当日2500円
19時〜二部 林家染吉「鬼あざみ」を聴く会
「鬼あざみ(上下)」「開口番」
出演：林家染吉 林家染八
料金：前売1500円 当日1800円
お問合せ：関西演芸協会06-6622-17848
(留守番電話にお入れください)



道頓堀SUPER歌謡劇場
心に響く!!昭和の流行歌

18日(火)13時〜16時30分
(各公演で部合唱内容が変わる場合があります)
出演：中村泰士(プロデュース)
浅田あつこ エラジユ坂井郎
もりやす(パンパン)ピカロ
結城ともこ(50音順)
料金：2500円
お問合せ：06-6911-5881-66660
(道頓堀SUPER歌謡劇場実行委員会)



2017年 7月の行事予定

- 1(土) 道頓堀川万灯祭点灯セレモニー 19:00〜とんぼりパークウォーク
- 10(月) 水辺空間利用検討会
- 14(金) 四商店会合同ハトルール(予定) 17:00〜 戎橋交番前
- 17(度) 度定例役員会
- 17(30) 事務局
- 15(土) 大阪ミナミ夏祭り2017 &にぎわいスクエア
- 16(日) 11:00〜20:00 とんぼりパークウォーク
- 25(火) とんぼりパークウォーク賑わい創出連絡会 10:00〜 スポタカ
- 26(水) 四商店街代表者会議 14:00〜 宗右衛門町商店街振興組合

就任あいさつ

上山勝也会長

5月24日の通常総会におきまして、今井会長からバトンを受けまして会長に就任させていただきました。

道頓堀商店会では、客引き、「ミニ違法駐輪」はみ出し看板など、環境を浄化していくべき多くの課題を抱えております。インバンド・チームが去った後も考慮して、「ライブエンターテインメントのまち・道頓堀」としての賑わいをどう維持、発展させるか、オーナー部会や店長会などを通して商店会の組織基盤の強化を図りたい。以上のように、解決すべき課題、課題が山積しております。

11名の副会長とともに、役員一同力を合わせて頑張っていきたいと思っております。会員の皆様のお力添えをなにとぞよろしくお願い申し上げます。



「大阪万博2025」を応援します。
「道頓堀川万灯祭2017」
7月1日、点灯式。
毎年、たくさんの提灯の明かりがともる元で、いろいろな夏のイベントが開催され、「とんぼりパークウォーク」が大いににぎわいます。
今年も、12500灯を超える献灯をいただき、「深里橋(四ツ橋筋)〜日本橋(堺筋)」の区間を1300灯以上の提灯で彩り、世界中に大阪・ミナミをアピールします。
また、昨年起こった熊本地震の被災地は未だに完全な復興には遠く、今年も引き続き、一灯につき1000円を義援金として、日本赤十字社を通じて送らせていただきます。
さらに今年は、2025年国際博覧会の大坂・関西への誘致をめざして、戎橋上の西側の欄干に沿って、「大阪万博2025」と書き込んだ提灯を吊り下げます。多くの人がグリコ前で記念写真を撮る時に、「大阪万博2025」が写され、国際博覧会の大坂誘致の気運が大いに盛り上がることでしよう。



時の人・インタビュー

落語に感謝!

人と繋がる落語と寄席を。

テレビで笑福亭鶴瓶の落語に魅せられ入門するも、なんと「落語をちゃんと聞いたのは入門した後」なんだとか! 今や若手落語家の中でも成長著しい有望株の一人。 エネルギッシュで、登場人物が生き生きと立ち上がってくる鉄瓶さんの落語。 また、「奈良出身なので、キラキラした都会と言えは難波だった」と言う鉄瓶さん。 落語と道頓堀のこれからについて語っていただきました。(聞き手: 中田真弥子)



(撮影: 大西 二士男)

プロフィール

笑福亭鉄瓶 (しょうふくていてつべい) 1978年 生まれ。奈良県出身。 2001年 笑福亭鶴瓶に弟子入り。 2013年 になにわ芸術祭新人賞。 2016年 には文化庁芸術祭-大衆 芸能部門新人賞を受賞。 最近のお気に入りには「鹿政談」とか。

「まず落語家を目指されたきっかけは何だったのでしょうか?」

「八ヶ岳TV」という番組を見て、1時間もお客さんを熱中させる笑福亭鶴瓶の落語、「鶴瓶斬」に惚れ込んだんです。たいへん失礼な話だけれど、最初、師匠を落語家というふうには見ていなかったのですよ。

一年半弟子入りを志願し続けて、やっと入門。落語ではなく、一人でトークができる芸人を目指して、前説や司会、レポーターの仕事もさせていただけるところになりました。

そんな中で、兄弟子の落語会を手伝う機会が増えました。落語を聞きだすと「あそこはもつと盛り上がった表現した方が……」「なんでこういう風にやらないの?」などと思うようになってきたんですね。

師匠に「落語をさせていたきたいのですが……」と申し出たら、「笑福亭なんやから勝手にせえ。入門四年のことでした。同期で落語会をやったら、みんなは二十本ネタを持っているのに、自分は二本しかない。スタートが遅い分、お尻に火が

付いてましたから、もう必死。「失敗を気にしない」「振り向かない」と決めました。結局、師匠からは度も落語の稽古をつけてもらったことがないんですよ。でも師匠が本名の「駿河守」だったら僕は落語に出合えなかった。師匠と落語には感謝がありません。



撮影: 佐藤 浩

「落語は教えてもらわなくても」「師匠」なんてですね……。

師匠から教わったことは「怖いな」と思った人にはおもしろい自分から近づいてみる」といふこと。嬉びるのははなはな「普通」にせえよ。

入門当時、道頓堀には浪花座がありました。師匠の教えがあったから、大御所

の師匠方にも可愛がっていただきました。あの「宮川左近シヨ」の三味線名人、照照師匠も「あら、鶴瓶ちゃんこの子? かわいいねえ」と笑。

当時の浪花座はお客さんが入らないと猫が走るのわかるんです。団体さんが「斉にお弁当のゴムを外すパチパチ」という音が響いたり……。そういう舞台上が上がって鍛えられていった。

大阪には繁昌亭はできたけれど、寄席はないんです。東京にはまだ浪花座のような寄席があるので、東京の落語家さんはみんな鉄の心臓ですよ。

落語も漫才も奇術もある演芸場がなくなると、落語は落語だけ、漫才は漫才だけ、いろんな芸が同じ舞台上で公演する「こいっぺ」がなくなりました。しかし、僕は他分野の人と繋がる機会はとても大切だと思ってるので、落語家だけでなく、漫才の人とも一緒に飲みに行ったり話を聞いたり。音楽も好きなので、ミュージシャンとのライブ&トークもやったりしています。

「今後の目標は?」

これからは落語に恩返しをしたいと

思っています。一度は消えかけた上方落語を四天王が盛り上げて、今は確かに落語家は増えました。繁昌亭もできました。でも僕が歳をとった時に、新しいお客さんは来てくれているのか。そんなことを考えると、夜眠れないくらい心配になりますよ。テレビばかり見ると、「落語」が「大喜利」だと思ってる人もいますからね……。

地域寄席に行く、地方地方で笑うポイントが違っていい勉強になります。初めて観られたお客さんに「落語でこんなに面白いんですね」と言ってもらえるのは、また格別に嬉しいですよ。

「落語家として、道頓堀にはどうお返ししていますか?」

今はエンターテイメントも多様化しているの難しいと思いますが、やっぱり寄席があつてほしい。疲れた時に「ふらふらと来て楽しんでちょうと元気になるって帰れる」といふのがいいですね。

常設でなくても、何軒かに協力してもらって、各お店で落語をして、お客さんそれらを聴いて回る、というふうな「落語祭り」ができればなと思います。

角座月夜はなしの会 「由瓶×鉄瓶」え?二人で??

7月24日(月) 19時~ DAIHATSU MOVE 道頓堀角座 出演: 笑福亭由瓶「蛇含草」 笑福亭鉄瓶「堪忍袋」 料金: 前売1500円 当日2000円 お問合せ: 06-7898-1900 DAIHATSU MOVE 道頓堀角座



「鉄瓶でSHOW!先輩と⑤」 鉄瓶「鹿政談」ほか二席

7月28日(金) 19時~ 天満天神繁昌亭 先輩ゲスト: 笑福亭鶴二「高津の富」ほか二席 料金: 前売2500円 当日3000円 お問合せ: 06-6661-0669 三栄企画 メール予約: info@saneikaku.co.jp



道頓堀 街づくり情報 「ミナミまち育てネットワーク」 ミナミの未来を見つめて、ネットワークを築く。

道頓堀をはじめ難波界限では様々なイベントが行われています。そのチラシやポスターに「ミナミまち育てネットワーク」の名前を見る機会が多いのでは? 魅力ある街づくりのため、どのような活動をされているのでしょうか。

◆ミナミまち育てネットワークとは?

大阪ミナミにゆかりのある企業、商店会、大阪府・大阪市などの行政、関西経済連合会、大阪商工会議所など100団体を会員として、さらなる大阪の活性化を目指して活動をしています。

街づくりに真剣に取り組んでいて、も一つの団体や企業でできることは限られています。

そこで、街の将来を長い目で捉え、様々な人や団体、行政を結んで街づくりをサポートするのが、ミナミまち育てネットワークです。昨年ならば駅前で行われた「なんばひろば改造計画」(昨年の道頓堀での「自転車マナーアップキャンペーン」など、さまざまな社会実験にも協力や共催をしています。

組織は大きく分けて三つの委員会に分かれています。

「企画委員会」

食文化、伝統芸能、お笑いなどミナミに欠かさないエンターテイメントの発表の機会を提供することで、若い才能を街に呼び込みます。

ジャズは道頓堀とはゆかりも深いですが、中学・高校生達を中心とする「ミナミ学生ジャズカーニバル」を開催。7回目を迎える本年からは音楽ジャンルも広げ、「ミナミ学生音楽祭」と名前を変え開催する予定です。若きミュージシャンたちは、ミナミ恒例の夏祭り、難波八坂神社道頓堀川船渡御にも参加しており、ジャズ船は道頓堀の夏を彩る風物詩となっています。



▶ 本年は7月13日(木) 18時30分



▲ スイスホテルで開催されたミナミ学生ジャズカーニバル。



▲ 船上ジャズ演奏が街に響きます。



▲ 道頓堀川両岸を埋め尽くす「ミナミべっぴんプロジェクト」参加者。

「街づくり委員会」

安全・安心なミナミのため、歩行者優先の道や広場づくりをテーマに活動しています。

現在、モデル整備として、千日前通から南、マルイまで、御堂筋の東側に自転車専用レーンが設置されています。「にぎわい」と「くろろぎ」のバランスを考えつつどう活用していくのかの社会実験が計画されていますが、そのサポートをしていきます。今年には御堂筋ができて80周年ですが、御堂筋の将来像につながるような実証実験ができれば、と考えています。

また、ミナミを「一斉に大そうじする「ミナミべっぴんプロジェクト」は年々参加者が増加。昨年は地元や会員からの参加者も増え、937人もの人たちが清掃活動をしました。

「総務委員会」

情報発信、事務局との協業、会員交流の企画運営をしています。

◆ミナミは人が主役の街 ここ数年、インバウンド需要もあり、ミナミの街は大きな賑わいを見せています。キタも大きな街ですが、ミナミは地上での回遊のしやすさがあり、歩きやすい。人が中心の街の作りになっているんですね。

街づくりという「どうしてでもイベントなどで「賑わい」を呼び込む方々」にいたりますが、現在のミナミはすでに十分賑わっています。いろんな顔をもつミナミらしさを保ちながら、「くろろぎ」の空間を考えることも長い目で見れば必要でしょう。そのための社会実験にも協力していきたいと思っています。

ミナミまち育てネットワークが主導権を取る、というのではなく、ミナミ全体で力を合わせるため、横つなぎの働きかけをさせていただいています。



▲ 小川洋事務局長。